

作業製品の販売会を開催

松橋西支援学校上益城分教室

2月3日(土) 豊内の甲佐ショッピングセンターサ・エ・ラで、県立松橋西支援学校(小野龍也校長147人)の生徒による作業製品の販売会が開催されました。

生徒たちが作業学習で作った製品を販売し、接客や地域住民と交流することを目的に、同校上益城分教室(県立甲佐高校内)が主催。高等部の生徒や教職員が小銭入れなどの革製品、はがきや封筒などの紙すき製品、野菜や花苗などを販売しました。販売会に訪れた人は、「丁寧に作られていますね」と話しました。



▲多くの花苗などが並んだ作業製品の販売会

仮設団地でもちつき交流

白旗小の熊本地震災害復興プロジェクト



▲12月20日(水) 白旗仮設団地で、白旗小児童と団地入居者、甲佐ライオンズクラブ、JA上益城などが参加し行われたもちつきでの交流



◀町生涯学習センターで行われた研修会

認知症にやさしい町づくり

認知症と認知症カフェに関する研修会

2月10日(土) 町生涯学習センターで、「甲佐町ともにつくる認知症にやさしい町づくり研修会」が開催されました。同研修会は、認知症や認知症カフェづくりについて学ぶことを目的に、「ともにつくる甲佐オレンジカフェ連絡会」(堀小百合代表)が主催、町包括支援センターが共催。認知症介護研究・研修仙台センターの矢吹知之さんを講師に迎え、約110人が認知症と認知症カフェについて学びました。矢吹さんは、「認知症カフェは介護者などのすべての方が当事者であり、支援されることを目指す場です」と講演しました。

白旗小学校(岩下勇治校長101人)では、災害復興プロジェクトの一環として、熊本地震の被災者を励まし元気になってもらうことを目的に、白旗仮設団地でさまざまな活動に取り組んでいます。

昨年12月20日(水)には、5・6年生から入居者へ花の苗と米が贈呈されました。児童たちが種から育てた花苗を、プランターに植えて贈りました。また、JA上益城(梶原哲組合長)などの協力の下、児童たちが仮設住宅の入居者とともに収穫した米を、1戸ずつ訪問し手渡しました。

1月23日(火)には、5年生によるもちつきが行われました。甲佐ライオンズクラブ(米村千晶会長)とJA上益城の協力の下、入居者なども参加して実施。児童らが交替できねを振り、入居者を励ました。

もちつきに参加した入居者は「元気がもらえ、気持ちが若くなります。何度も白旗仮設団地に来てもらって、感謝しています」と話しました。

つきあがったもちも、参加者でおいしくいただくとともに、入居者に配られました。

▼寄せ書きなどを届けた日隈募さん(右から2番目)と日隈俊郎さん(右)



このほか、同小にはこれまでにも山崎さんと親交のある方々から、復興応援メッセージやカレンダーなどが贈られており、児童からはお礼の手紙を送るなど、支援を通して交流を深めています。山崎さんから寄贈された本立てキットは、6年生が卒業記念として製作に取り組んでいます。

中学生視点でまちづくり

2月23日(金) 子ども議会を開催

2月23日(金) 町議会議場で、平成29年度子ども議会が開催されました。

中学生に議会体験を通して本町の課題について考える機会を持ってもらうことを目的に、町が実施。甲佐中学校(井上幸三校長228人)の生徒14人が参加しました。

生徒の中から議長に選出された大島和奏さん(2年・和田内区)が前半、小柳花凜さん(1年・横田区)が後半の議事を進行。子どもの視点で考える町の課題や将来像についての意見や提案などが町執行部に出示されました。



▲一般質問で町執行部に質問をする甲佐中学生

秋田から復興応援メッセージ

乙女小に寄せ書きなどを贈呈

2月21日(水) 乙女小学校で、熊本地震で被災した児童たちを元気づけるため、秋田県の有志の方々から寄せ書きや手作りのしおりが贈呈されました。同小を訪問した日隈募さん(下豊内区)と日隈俊郎さん(船津区)が代表として、児童に手渡しました。同品は、募さんのご家族で秋田県在住の山崎将さんの同小への支援活動に共感した秋田県の民間団体から贈られたもの。秋田県で民間ボランティアで活躍する山崎さんは、昨年、同小に秋田杉製の本立てキットを寄贈。



◀厚生労働大臣表彰を受賞した岡部さん

厚生労働大臣表彰を受賞

食品衛生指導員・岡部啓太郎さん(岩下一区)

昨年10月、食品衛生事業功労者厚生労働大臣表彰が行われ、岡部啓太郎さん(岩下一区)が食品衛生功労者表彰を受賞し、表彰状が伝達されました。同賞は、食品衛生の普及向上、食品衛生行政に対する協力および業界の指導育成などに特に顕著な功績があった方を、厚生労働大臣が表彰するもので、今年度は全国から207人が受賞。岡部さんは、豆腐製造・販売業を営みながら、上益城食品衛生協会の指導員、副会長、甲佐支会長などを歴任。食品衛生の普及啓発および自主管理体制の確立に尽力し、その功績が高く評価され、受賞となりました。

シイタケのコマ打ち体験

竜野地区で子ども自然体験塾を開催

2月3日(土)竜野地区で、「子ども自然体験塾・えっさほいさ甲佐」が行われました。この体験塾は、県の中山間地域サポート推進事業(農と福祉の連携推進事業)の支援を受け、地域の高齢者との触れ合いや農業体験、自然観察会を通してふるさとの自然を大切にすることを育てるため、小・中学生を対象に(尙)せせらぎ(高橋恵子代表)が実施。子どもや高齢者など約20人が参加し、シイタケを栽培している木村明雄さん(上早川四区)宅で、シイタケのコマ打ちを体験しました。



▲シイタケのコマ打ちなどで自然を体験する子どもたち

九州防犯協会連絡協議会表彰

境国嗣さん(広瀬区)、龍野ドラ・パト隊



▲表彰された龍野地区社会福祉協議会龍野地区防犯パトロール隊長の北川國昭さん(中央左)と境国嗣さん(中央右)



▲全国大会に出場する上益城チームの皆さん

上益城チーム全国大会へ

ママさんバレー大会に4選手が出場

3月10日(土)・11日(日)大阪府で行われる第29回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会に、県代表として上益城チームが出場します。同チームは結成10年を迎え、井芹洋子さん(山出区)、大村いづみさん(大町区)、川崎恵美子さん(八丁区)、山本より子さん(上揚区)の4人が所属。昨年7月に行われた県大会で見事優勝し、悲願の全国大会への出場権を獲得しました。井芹さんは「バレーができるのは、家族の協力のおかげです。チーム一丸となって日本一を目指し、楽しくがんばってきます」と意気込みを話しました。

▼写真左から、水泳の仲原選手と田上選手、バレーの芳野選手。



福岡県で開催された第38回九州カッパ水泳競技大会に、田上大翔選手(下横田区・ルーテル学院高2年)と、仲原乙葉選手(中横田区・甲佐中1年)が出場しました。田上選手は、17歳以上の部の50歳以上の部の200歳以上自由形、仲原選手は、13歳と14歳の部の200歳以上の部の200歳以上自由形に出場し、健闘しました。

ニラ風味の新商品を開発

『虎穴ニラずんば』ラーメンとラー油

2月25日(日)甲佐町ろくじ館で、「ニラパワー EXPO2018」が開催され、町特産のニラを使用した新商品の「ニララーメン」と「食べるニララー油」がお披露目されました。同商品は、甲佐町食による復興協議会(越智新代表)が、(尙)肥後そう川(坂本憲市代表取締役)およびNPO法人自然楽舎みやうちの「パワフル母ちゃん」と共同で開発。ニラの風味を生かした味が特徴です。『虎穴ニラずんば』と命名された2商品は、同館で3月から販売予定です。



▲新商品のラーメンとラー油をおすすめする越智さん

全国大会・九州大会に出場

本町の中学生・高校生3選手が健闘

本町の中学生・高校生3選手が全国大会・九州大会に出場し、活躍しました。1月4日(木)〜8日(月)、東京都で開催された第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会に、芳野阿也選手(岩下一区・鎮西高3年)が出場しました。芳野選手は、10月の県大会で優勝し、本大会に出場。1回戦で大阪代表・四天王寺高と対戦し、ピンチサーバーとして出場。サーブエースを決めるなどの活躍を見せました。



▲県農林水産業功労者表彰を受賞した清住さん

県農林水産業功労者表彰

清住昇さん(吉田区)が受賞

1月11日(木)県庁で、県農林水産業功労者の知事表彰が行われ、清住昇さん(吉田区)が農業部門で受賞しました。同賞は、本県の農林水産業の振興のために献身的な活動を続け、その功績が特に顕著な個人や団体を表彰するもので、今年度は19個人・1団体が受賞。清住さんは、昭和46年に花中心の農業に就農。日本花き生産協会の鉢物副部長や糸田堰(せき)土地改良区の理事などを務め、水路の改修など農業基盤の整備を実施。地元農家の負担軽減・営農改善、後進の指導に尽力し、その功績が高く評価され、同賞の受賞となりました。